

飲水思源

町長 松岡市郎

東川にある世界の中の最高のおもてなし

小さな地方自治体であっても世界に目を向け、世界の中の「東川」を意識しながら町づくりを考える時代に入っている。交通機関と情報網の著しい進展によって瞬時に情報を共有でき、かつ人の動きも迅速化している。

以前、東川町で国際交流員として勤め、その後1年間東京大学大学院で学んだ中国・上海在住のワン・シュエ(王雪)さんは、東川と中国の架け橋として頑張っている。東川町日本語学校への研修生派遣、そして冬や夏には田園環境を生かした新しい体験滞在型のツアーを東川振興公社と連携し展開している。短期間に何カ所も見て歩く従来型のものではなく、一つの町で、地域の人々が織りなす人々と文化などに接し、体験を通じて「会話、友情の輪、融和」を育むことができる地域密着滞在型のものである。

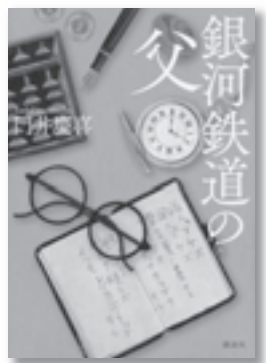
を学び、スキーやクラブづくりを体験し、買い物や食べ物を楽しむ五感刺激型のものである。大変に感激して帰国し、大成功であったと聞いている。

雪のない国の人々にとって、雪は最高の宝物となっている。タイから来たスキー体験者も雪の中に飛び込み、雪と親しんでいる。ベトナム、インドネシア、台湾などからも…。雪は地域の宝物へと変わっている。東川は田園暮らし体験を指導できる人材が豊富である。これからの楽しみである。中国人と接したある店主は「簡単な日本語と身振りで十分通じた」と言う。

外国から来る留学生や滞在者は、地元の人々、文化、自然との触れ合いを楽しみにしている。来訪者に優しく、やさしい日本語で話しかける会話は、ローカルな町だからできる最高のおもてなしになる。世界の中の東川であることに誇りと自信を持って「こんにちは」から始まるやさしい会話、これが東川の最高のおもてなしである。

銀河鉄道の父(一般書)

門井慶喜:著 講談社:刊



宮沢賢治の生家は、祖父の代から富裕な質屋だった。父の政次郎は、地元・岩手県花巻で名士であり、熱心な浄土真宗信者であった。賢治の父としての視点で描く第158回直木賞受賞の意欲作。

長男であった賢治は、本来なら家を継ぐ立場だったが、学問の道を進み、後に教師や技師として地元へ貢献し、多数の童話や詩の創作に情熱を注ぎ続けた。政次郎を通して賢治の姿を追う。

家族はつらいよ2 (DVD)

松竹株式会社



周造はマイカーでの外出をささやかな楽しみにしていた。周造と富子との離婚が家族全員を巻き込む騒動となってから数年後、その愛車には傷が目立ち始めていた。高齢者の危険運転を心配した一家は、周造に運転免許を返上させようと家族会議。それを知った周造は、意固地になって運転を続け…。頑固オヤジをいったい誰が説得するのか？と平田家はまたも不穏な空気に包まれていく。(113分)

貸し出し図書 ビデオ紹介

文化交流館 ☎ 82-4245

3月25日で完全閉館

文化交流館は、3月25日(日)で完全閉館します。本、DVDの貸し出しは25日(日)まで。閉館後の返却は、図書は文化交流館の返却ポスト、DVDは農村環境改善センター窓口へ。今夏新オープンする写真文化首都創生館(仮称)でまたお会いしましょう。

えがないえほん(絵本)

B・J・ノヴァク:作 早川書房:刊



この本を読み聞かせる人は、書いてある言葉をすべて声に出さなくてはなりません。たとえどんなおバかな言葉でも。「ばふっ」「ぶりぶりぶ〜!」。シンプルな仕掛けが子どもに大人気。本好きになって表現力も豊かにしてくれます。ミュージシャン、マジシャンで翻訳家の大友剛さんが翻訳した人気の読み聞かせ絵本『ねこのピート』。子どもが大笑いする“絵がない”読み聞かせ本。